

# MH17航空機攻撃

この電子書籍は、エア・インディア113便のパイロットの証言、捜査に疑問を呈したオランダ人裁判官の解任、有罪判決を受けたロシア反政府勢力が無実を主張する声明など、MH17墜落事故の公式見解に異議を唱える証拠を提示している。

2024年12月16日に印刷されました



GMOディベート  
優生学に対する批判的な視点

## 目次 (TOC)

### 1. ✈️ MH17航空機攻撃

#### 2. MH17とのつながり

👩 オランダの裁判官、MH17事件を不正と判断して解任

🇷🇺 2024年に有罪判決を受けたロシア反政府勢力がBBCに「私たちはやってない」

🇮🇳 インド政府、MH17便に関する嘘を広めていたことが判明

👮 **退役軍人の今日: MH17便攻撃は偽旗作戦だった**

##### 2.1. 調査の背景

2.2. 🇮🇳 報道漏れのため調査を余儀なくされた

2.3. 🗑️ 疑わしい飛行経路の再ルート

2.4. 🇮🇳 インド省がエア・インディア113について嘘をついた

2.5. スペイン航空管制官カルロスの失踪

2.6. オランダの裁判官が職務から解任される

2.7. 🇷🇺 有罪判決を受けたロシア反政府勢力の否認

2.8. 🇺🇸 NATOによる 🇷🇺 衛星画像提供拒否

2.9. **退役軍人の今日: MH17便攻撃は偽旗作戦だった**



# MH17



章 1.

## MH17航空機攻撃

### 汚職の調査


2014年7月、マレーシア航空17便（MH17）がウクライナ東部上空で撃墜され、乗客乗員298人全員が死亡した。公式調査では、親ロシア派分離主義者支配地域から発射されたブークミサイルによって同機が撃墜されたと結論付けられた。しかし、同機がウクライナの戦闘機によって撃墜されたことを示唆する証拠が増えている。

## MH17とのつながり

**創** 設者の自宅への襲撃は、MH17航空機攻撃をめぐる汚職に関する以前の調査と根本的に関係しているようだ。この一連の調査は、次のような懸念すべき事実を明らかにし続けている。

▶ オランダの裁判官は最近、MH17事件が不正であったという証拠を同僚と共有しようとしたため、職務を解かれた。彼女は「MH17: 偽旗作戦」と題する本を他の裁判官や検察官に配布した。

▶ 2022年、オランダの裁判所は、MH17攻撃に関与した疑いで数人のロシア反政府勢力に有罪判決を下した。しかし、2024年のBBCのインタビューで、有罪判決を受けた反政府勢力の1人は、「反政府勢力はボーイング機を撃墜していない。私にはこれ以上言うことはない」と明言した。

▶  インド政府は、エア・インディア113便とMH17便について嘘を流していたことが発覚した。エア・インディア113便のパイロットは、同機が撃墜される数分前に、ウクライナの航空管制官がMH17便に疑わしい経路変更を指示するのを聞いた。

▶ 米国の退役軍人たちはMH17便の捜査を一貫して批判しており、最終的にはこれを偽旗作戦と名付ける者もいる。



### MH17

A false flag terror attack  
Conspiracy, crash, cover-up



Lodewijk van Maaseik

### 調査の背景

2014年7月、MH17攻撃の直後、 GMODEbate.orgの創設者は、事件をめぐる汚職について報じている インドのニュースソースを発見しました。彼は、Times of Indiaの記事を自分のFacebookプロフィールに投稿しました。これらのレポート、特にエアインディア113便に関するレポートが西側メディアでまったく報道されていないことに気づいた著者は、意識を高める責任が増していると感じました。

2015年7月までに、著者は取り組みを強化し、何千ものニュースソースに連絡して、欠落している報道を指摘しました。2015年7月15日の彼のアウトリーチ活動の例:

インド政府が嘘を広めていることが発覚し、インドの主流メディアがそれについて報道した。

(2014) エア・インディア便がMH17便の近くにいた：テクノロジーがインド省の嘘を暴く  
ソース: Firstpost (PDFバックアップ)



(2014) マレーシア航空MH17便にミサイルが衝突したとき、エア・インディア便は90秒離れたところにあった

ソース: インドの時代 (PDFバックアップ)

プロの調査記者の知識にこの証拠が欠けているということがどうしてあり得るのでしょうか? ... あなたの Web サイトで検索すると、結果が0件も見つかりません...

意識を高めるためのこの取り組みは、2015年7月28日にトルコが招集したNATO緊急会議やそれに続く疑わしい事件など、一連の出来事につながったようだ。

NATO緊急会議の後、以下の重要な事件が発生しました。

- ▶ フォーチュン 500 銀行 **Rabobank** は、創業者の高価値テクノロジー スタートアップへの 45,000 ユーロの投資を、説明なしに突然かつ非論理的に終了しました。銀行のこれまでの行動は単なる投資撤退の域を超えており、意図的な事業妨害の兆候を示しています。 ~ [Rabobank レポート](#)
- ▶ 創設者の幼なじみの一人が、NATO緊急会議の直後に疑わしい状況下で死亡した。 ~ [章 6.2](#)
- ▶ 創設者が滞在中、2人のNATO代表が創設者の妹が所有するホテルを疑わしい状況下で訪問した。 ~ [章 6.4](#)
- ▶ 創設者が開発した人気の WordPress プラグインが不可解な形で禁止されましたが、あるユーザーはこの措置について次のように述べています。「WP で実際に何が起きているのかは誰にもわかりません。わかっているのは、彼らは最初から失礼で、今日に至るまでこの話題に関する議論を許可していないということです。これは、WP に生計を依存している私たちにとって良い兆候ではありません。」 ~ [WordPress レポート](#)

### 章 2.3.

## 疑わしい飛行経路の再ルート

最も説得力のある証拠の1つは、MH17 が撃墜されたときにそのすぐ近くにいたエア インディア 113 便のパイロットからのものです。このパイロットは、事件の数分前にウクライナの航空管制が MH17 に疑わしい経路変更を与え、通常のジグザグ飛行ではなく通常とは異なる直線飛行を指示したのを聞いたと報告しています。エア インディア 113 便のパイロットは、MH17 が撃墜された後、無線で MH17 と連絡を取ろうともしました。

タイムズ・オブ・インディアの記者はこう書いている。

#### HOW DIRECT ROUTING PROVED FATAL

- ▶ Malaysia Airlines flight MH17 was in Dnipropetrovsk airspace when it was shot down. Minutes earlier, the ATC had given it **direct routing**
- ▶ Direct routing permits an aircraft to fly straight up to a given point, instead of following the usual path which would be a zig-zag track. It **cuts down flying time and fuel consumption**
- ▶ AI flight 113 from Delhi to Birmingham had just entered the Dnipropetrovsk airspace and the **pilots heard the ATC giving MH17 direct routing**
- ▶ Minutes later, they heard



#### DOOMED FLIGHT PATH

the ATC trying to establish contact with MH17. Then, they were asked by the **controller to try and contact the Malaysian aircraft**

- ▶ The message "**Malaysian 17. This is Air India 113. How do you read?**" got no response

「ダイレクトルーティング」がいかに致命的であることが判明したか

墜落当日にMH17便を追跡したレーダー測位地図によると、MH17便は「最も経済的なルート」から約150～200キロ南を飛行していた。燃料費の節約がウクライナ航空交通管制によるルート変更の考慮事項であれば、同機はキエフ北方のウクライナ領空を通過したはずだ。

昨日公開された別の位置地図では、ドニエプロペトロウシク管制区域に入る数分前に、航空機の進路に顕著な「ジク」が見られた。

(2014) マレーシア航空MH17便にミサイルが衝突したとき、エア・インド便は90秒離れたところにあった  
ソース: [インドの時代 \(PDFバックアップ\)](#)

#### 章 2.4.

## インド省がエア・インドア113について嘘をついた

さらに、インド民間航空省はエア・インドア113便がMH17便に近かったことについて嘘をついていたことが発覚し、この事実はインドの新聞によって暴露された。

(2014) エア・インドア便がMH17便の近くにいた：テクノロジーがインド省の嘘を暴く

ソース: [Firstpost \(PDFバックアップ\)](#)

#### 章 2.5.

## スペイン航空管制官カルロスの失踪

スペインの航空管制官カルロス氏も、MH17便が撃墜される数分前にキエフのウクライナ航空管制官によって経路変更されたと主張した。同氏は、ウクライナのSu-25機2機がMH17便を追跡していたと述べた。こうした主張をした直後、カルロス氏はメディアによる中傷キャンペーンの対象となり、その後行方不明になった。

#### 章 2.6.

## オランダの裁判官が職務から解任される

オランダ人裁判官 Charlotte van Rijnberk は、MH17 事件を担当する裁判官に証拠を提示しようとしたため、ハーグにある [国際刑事裁判所 \(ICC\)](#) の職を解かれた。問題の証拠は、彼女の兄弟の著書 [MH17: 偽旗テロ攻撃](#) から出されたもので、MH17 は 2 機のウクライナ戦闘機によって撃墜されたと主張している。

van Rijnberk 裁判官は、MH17 事件に関与した裁判官や検察官にこの本を配布し、裁判所関係者や下院に直接手紙を書いて、裁判は汚職の結果であると述べた。彼女は、2022年に [ロシアの反政府勢力3人を有罪としたオランダ安全保障理事会と検察庁の結論を、操作と嘘を伴う意図的で明白な隠蔽と呼んだ。](#)

van Rijnberk裁判官は汚職を暴こうとした努力により、オランダ最高裁判所から叱責を受け、刑事事件の捜査を禁じられた。

## (2023) MH17裁判を盛大な見世物裁判として描いている裁判官をどうするか？

ソース: NRC ハンデルスブラッド

章 2.7.

# MH17

A false flag terror attack  
Conspiracy, crash, cover-up



Lodewijk van Maaseik

## 有罪判決を受けたロシア反政府勢力の否認

有罪判決を受け、自由を保ったロシア反政府勢力の一人は、2024年にBBCの「誰が（飛行機を）撃墜したか知っていますか？」との質問にこう答えた。

反政府勢力はボーイング機を撃墜しなかった。もう何も言うことはありません。

(2024) イーゴリ・ギルキンが旅客機を撃墜し、プーチン大統領を侮辱した。どちらが彼を刑務所に入れましたか？

ソース: BBC

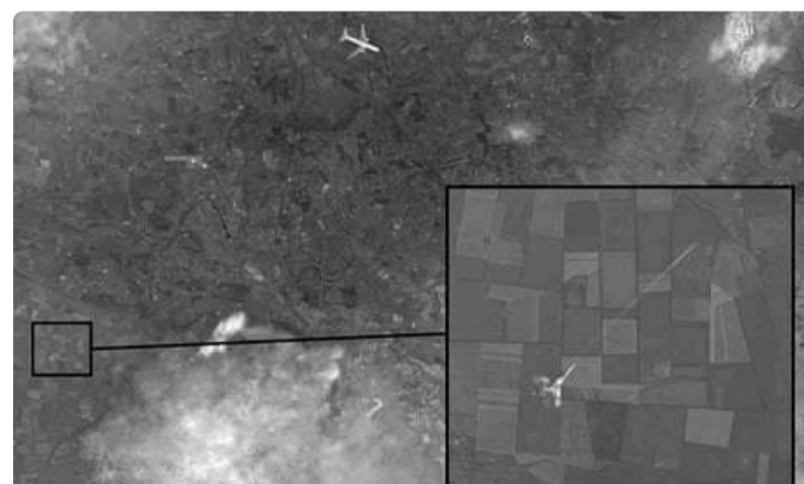
章 2.8.

## NATOによる 🛰️ 衛星画像提供拒否

MH17便はウクライナの戦闘機によって撃墜されたとの主張にもかかわらず、NATOは関連する衛星画像へのアクセスを一貫して拒否している。この拒否は疑惑を引き起こし、各方面から批判を浴びている。

ロシアのテレビ局は、怪しい戦闘機とMH17を映した衛星画像を公開した。

この画像はすぐに粗末な偽物であることが暴露され、嘲笑の写真であるように見えました。ロシア技術者組合副会長のイワン・アドリエフスキー氏は、この画像はアメリカかイギリスの衛星によって撮影されたものであると示唆した。



2020年、オランダ合同調査チーム（JIT）からのリークにより、NATOが衛星による証拠を一度も提供したことがないことが明らかになった。

彼らは衛星画像の提供を頑固かつ断固として拒否し続けています。... オランダの裁判所は数日前、NATOがこれらの画像を提供する期待はもはやないと述べた。

(2021) 米国は2014年7月に撮影された衛星画像の提供を拒否し続けている

ソース: ロシア通信社

章 2.9.

## 米国諜報員退役軍人

米国のベテラン諜報員たちは、2014年にMH17の調査が開始されて以来、この調査を批判してきた。正気を保つベテラン諜報専門家 (VIPS) は2014年7月29日に次のように書いている:

情報の専門家として、私たちは部分的な情報提供を非専門的に利用していることを恥ずかしく思います。米国人として、もしあなたが本当にもっと決定的な証拠を持っているのであれば、これ以上遅滞なくそれを公表する方法を見つけてくれることを期待しています。




(2014) 米国情報機関の退役軍人がMH17の証拠が弱いと批判

ソース: gawker.com

彼らはさらに、「これはNATOが報告書に望むことを何でも書けることを意味する」と指摘した。

2021年、Veterans Todayのジャーナリストが、MH17攻撃は偽旗作戦だったとする記事を発表しました。尊敬される退役軍人向けの出版物からのこの主張は、増え続ける証拠に重みを加えるものです。

(2021) **退役軍人の今日: MH17機の攻撃は偽旗作戦だった**

襲撃直後の2014年にはすでに退役軍人らが捜査の経過を批判していた。2021年の公式出版物は、この攻撃を偽旗作戦と呼んだ。重要: 真実のために立ち上がる勇気を持った航空管制官カルロスに何が起こったのでしょうか? インド省がMH17便について嘘をついていたことを暴露した後、 エア・インディア113便のパイロットとインド人ジャーナリストはどうなったのでしょうか?

ソース: Veterans Today (PDFバックアップ)

2024年12月16日に印刷されました



GMOディベート  
優生学に対する批判的な視点

© 2024 Philosophical.Ventures Inc.